

大賞

地域住民の手で成し遂げた 国内初の自動運転バスの社会実装

茨城県境町（BOLDLY）

茨城県境町が運行する自動運転バスは、住民や町内企業が自発的に受け入れる工夫をしているのが特徴だ。行政側からの依頼なく、バス停への私有地提供をはじめ、路上駐車の削減支援、自動運転関連の広告や商品開発などを行ってい る。その結果、「誰もが生活の足に困らない町」と安金両滑な運行を実現し、全国で初めて自動運転バスの社会実装を実現した。

境町は、2020年11月に自動運転バスの定常運行光客双方の回遊性向上を図るべく、路線バスを中心とした公共交通網が脆弱（ぜいじやく）だったのに加え、高齢者の免許返納意向の高さや子育て世代の移動手段の確保など、交通に関する課題を解決するためだ。病院やスーパー・マーケット、子育て支援施設など主要生活拠点を結ぶルートから運行を開始し、21年8月には境町高速バスターミナルから道の駅などの観光拠点を結ぶルートを新設。町民と観光客双方の回遊性向上を図ることで、地域住民の手で成し遂げた国内初の自動運転バスの社会実装を実現した。



茨城県境町が運行する自動運転バス導入に当たっては、町在住デザインによる外装デザインのラッピングも施した。これらをモチーフとしたバッジやステッカーを配布しているのも一つの役割も果たす。制限速度を超えて走行する車両も多いのが実情だが、低速な自動運転バスが高頻度で走行することで、速度超過する車両が減り、交通安全につながっている。

電動バスは走行時の温室効果ガス排出削減にも寄与する。さらに、目的地となる施設整備も並行して行うことで、域内の移動総量を増加させ、地域経済の活性化や高齢者の健 康増進にも役立てている。

沿線住民をはじめ、町ぐらみで積極的に受け入れることで、単なる移動手段にとどまらない存在となつて いる。

る方針だ。

〈受賞者コメント〉 茨城県境町の自動運転車による公共交通への住民との取り組みに対する評価に、感謝を申し上げます。我々の取り組みはシンプルに困っている人を助ける、というもので、その手法として全国の自治体で初めて自動運転車の常時運行を決断しました。境町の取り組みが全国の公共交通の課題解決の一助となればと思っております。BOLDLYをはじめ関係各位の皆様に感謝を申し上げます。